

(案)

令和7年1月 日

南那須地区広域行政事務組合
組合長 川 俣 純 子 様

那須南病院整備基本構想検討委員会
委員長 松 村 正 巳

南那須地区広域行政事務組合立那須南病院整備基本構想（素案）について（答申）

令和6年4月22日付け、南広病第32号で諮問のありました「南那須地区広域行政事務組合立那須南病院整備基本構想（素案）」につきまして、本検討委員会において慎重に検討・議論を重ねた結果、別添のとおり基本構想（素案）を取りまとめましたので、下記のとおり本委員会の意見を付して答申します。

記

【付帯意見】

本基本構想（素案）においては、那須南病院が地域住民の命と健康を守る上で重要な役割を担っていることを踏まえ、南那須地域における現在の医療提供体制を維持することを最優先に、これまでの実績と将来の患者数予測に基づき、必要病床数及び診療科目等を設定した。

しかしながら、建築単価の高騰により概算事業費が想定以上に高額になっており、現在の那須南病院の経営状況を考えると、患者数の確保による収益増や業務の効率化による経費の節減など、新病院の建設までに経営を安定化させるための経営改善が急務である。

今後、施設整備を進めるにあたっては、過大な投資を抑制しつつ、南那須地域の基幹病院として、将来にわたって救急医療、専門的医療など、地域の求める医療を提供し続けられるよう、地域住民の理解を得ながら、慎重かつ丁寧に事業を進められたい。

また、構成市町である那須烏山市及び那珂川町の厳しい財政状況も考慮した上で、一般会計からの負担金の考え方についても十分に協議し、地域住民にとってより良い医療環境が提供できる施設整備に努められたい。